

## 「みやぎボイス2018 一次の社会の在り方につなげる試み—」

2011年3月11日の東日本大震災から7年、被災地それぞれが多様な姿と課題・問題を持っており、また復興計画と制度に対する評価も様々です。被災地で活動する様々な分野のボランティア団体や大学等の研究者、自治体の行政官、被災地にお住まいの住民の方々などが、立場の枠を越えて復興の現状について理解し合い、本音で議論することのできるプラットフォームを構築することを目指し、これまで5回にわたって「みやぎボイス」を開催してきました。

今回の「みやぎボイス2018」では、事例報告と三つのラウンドテーブルでのセッション・意見交換を展開し、プラットフォームでの協働を通して、これまでの復旧・復興に関わる総括と、これからの地域社会における共創のあり方を明らかにすることを目的としています。異なる分野間の連携について被災地が抱えている課題を浮き彫りにするとともに、住民合意形成の在り方に関する議論や、復興まちづくりの成功事例から導き出される、次の社会につなげていくための知見に関する議論など、まちづくりにおける市民・行政・専門家の役割について理解を深め、その成果を共有することを予定しています。

日時	9月2日(日) 10:00~18:50 (9:30受付・開場)
会場	せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア
定員	150名(会員および一般市民、入場無料、事前登録不要)
出演者	ラウンドテーブル登壇者 延べ約60名(約10名×3テーブル×3ラウンド)
主催	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (一社) 日本建築学会</li> <li>■ みやぎボイス連絡協議会 詳細</li> </ul>
構成団体	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 (公社) 日本建築家協会東北支部宮城地域会</li> <li>2 (一社) みやぎ連携復興センター</li> <li>3 宮城県サポートセンター支援事務所</li> <li>4 (一社) 東北圏地域づくりコンソーシアム</li> </ol>